

Origami Tanteidan Newsletter 折紙探偵団新聞

39号

疲労感



第二回・やっと入門の前編

他人に学んでも自分で考えなければ無知に等しい。自分で考えても他人に学ばなければ無思慮に等しい。

孔子

「論語」

前回、私たちは「折り紙」と「紙を折ること」との間には何らかの違いがあることに気がつきました。今回は、その違いが何であるかについて考えてみましょう。

ところで、何を折り紙と呼び、何を呼ばないか、ということが人によって異なることがあります。したがって、これからの議論の中で、どうしても納得できない部分が出てくるかもしれません。哲学の議論をする

ときに、絶対に確実な出発点、すなわち「アルキメデスの点」が存在することは希なことです。アルキメデスの点は、現実の世界に生きている私たちの直感に求めざるを得ません。

これからの議論は、「私の理論」ではなく、「私の問題提起」だと受けとってください。そして、皆さん自身で改めて考えてみてください。それが哲学です。

「折り紙」と「紙を折ること」この「折紙探偵団新聞」を物理的に見ると、半分に折られた紙が重なっています。しかしこの新聞自体は「折り紙」ではありません。本を読んでいてしおりがないとき、頁の端を折ることがありますが、これも「折り紙」ではありません。紙をくちやくちやに丸めたときでさえ、広げてみれば「折り目」が付いています。これらの場合と折り紙とはどう違うのでしょうか。

紙を丸めるとき、彼は紙を折っていてもするのですが、そのことを意図しているわけではありません。つま

り、彼は意図的に紙を丸め、非意図的に紙を折ったのです。1方、折り紙の場合は紙を折ることを意図しています。しかし新聞を折ったり頁の端を折ったりするときもまた然りです。

新聞を折る場合、紙を折ることによって新聞を封筒に収めることも意

はまだ修行が足りません。事実にははるかに複雑です。現実的には不可能に近いですが、理論的には、非意図的に折り紙をする場合があります。

例えば、ある人が、紙を折ることで紙の強度を調べたいと思って、いろいろ折っていたとします。そうしたら偶然にも、我々が「折鶴」と呼んでいる形になってしまったとします。

彼は紙を折ることを意図し、紙の強度を調べることを意図しましたが、形を作することを意図してはいません。したがって彼は意図的に折り紙をしたのではないのですが、横で見ていた人に「あなたは折鶴を折ったのだよ」といわれればそれを認めざるを得ません。そのとき、彼は「非意図的に折り紙を折った」といわれるのです。

ここに創作の場面が絡むとさらに問題は複雑になります。例えば、紙の強度を調べることを意図して紙を三角に折った人が、後になって「これは「山」という作品で、私が創作したのだ。」といったとしたら、また、隣の人が「あなたは創作をした。これに「山」という名前をつけてあげよう。」といったとしたら、彼は折り紙を折ったといえるでしょうか。

次回は、意図の観点とは別の道筋を探してみましょう。

紙の哲学入門

羽鳥 公士郎

図しています。頁の端の場合は本を閉じて読んでいた場所が分かるように意図していてもいいです。このような「さらなる意図」は、意図的に紙を折る際に、どのような折り方をすればよいかの指標を与えます。(指標を与える意図はさらなる意図だけでは限りません。頁の端を折る場合には本をなるべく傷めないようにするという意図も働くでしょう。)

折り紙の場合、このさらなる意図は「形を作る」という意図です。

孔子「論語」
思而不學則殆
學而不思則罔

そんなに単純じゃないぞ
今までの議論で納得してしまった人

ご意見、ご感想、ご質問、ご反論等
どしどしお寄せ下さい。

ら-ん

主幹 前川 淳

■この夏は休日ほとんどなしの仕事漬けです。

コ…ゴービーか…

岡村昌夫

第26回



おかむら まさお Masao Okamura

■汗をかきながらマックでお雛様作りをするのも乙なもの。

〔承前〕〔表面着色展開図〕

内山光弘氏が明治41年に出版されたものと同種の刷り物は、江戸時代の文化年間には大坂で各種売り出されていたことが判っている。(厳密に言えば、文化の版で現存するものはモノクロの廉価版である。なお、それ以前のいつごろ発明されたものか、江戸でも刷られていたかどうかなどは未詳である。)それらは、『をる』7号8号で紹介したように、細い線と太い線を書き分けて、山折りと谷折りを指示したり、折る順を示す数字を線の脇に書いたりする工夫が見られるのであるが、内山版には、それがない。これは光弘氏が、昔のものを見えていない事を示しているのではないかと。少なくとも東京では、明治以後無かったものではないか。明治39年から制度が始まったばかりの実用新案特許を取る事が出来たのもその傍証ではないか。

『をる』6号で熊坂浩氏が「表面着色展開図」と名付けられた物と同じであるように前号で書いたのは不用意だったので、似てはいるが本質的には全く別物であることを次に説明したいが、同時に混乱を避ける為に、前回および今回の図版に掲げたようなものは「彩色展開図」と呼ぶことにしようと思う。

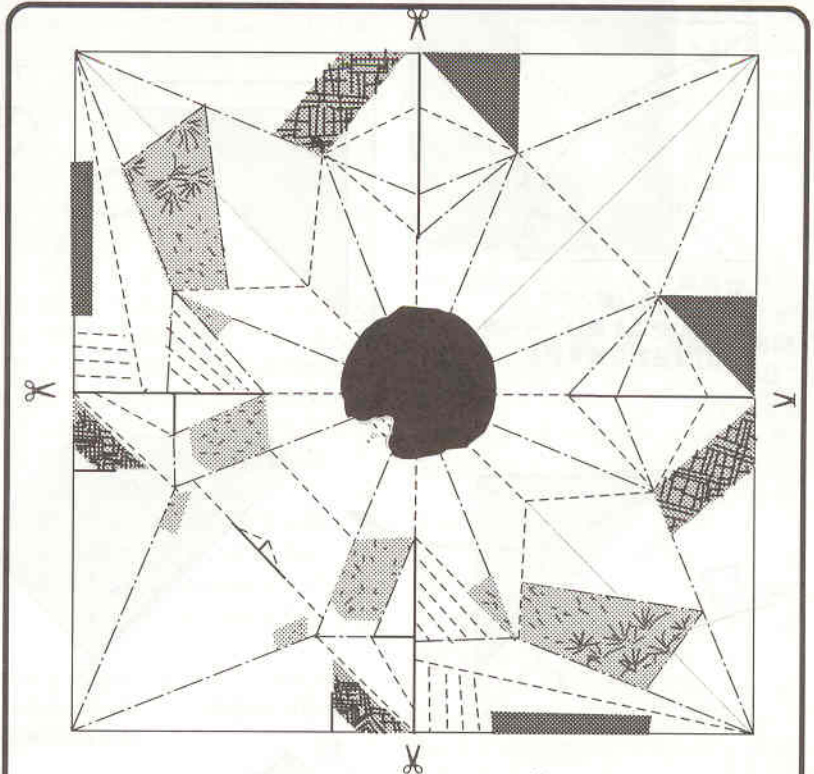
〔熊坂氏の展開図との相違点〕

熊坂氏の「表面着色展開図」は、折り上げた作品の表面に着色してから紙を全開したものであるが、「彩色展開図」は、折る前に色刷りにしてある展開図であって、折り上げると作品の表面に色や模様などが現われるようになっていくものである。従って「表面着色」の方は、例えばインサイド・アウトの作品の場合などは、紙の表と裏の両面に色が着けられることになり、「彩色」の方は紙の表にだけ

印刷されているので、紙の裏が出来上がり表に出る場合は白いままになってしまうのである。(例えば『かや草』所収の雛や六歌仙など、男性の衣装の重要な前面が白くなる。)

更に重要なのは、その展開図を作る目的の違いだろう。熊坂氏は、主に作品を構造的に理解させるための手段として利用しておられるようだが、「彩色」はもともと、通俗的な写真指向の現われであったのだろう。現代

の折り紙愛好家からは嫌われるのが普通の、折り紙の要素として「純粹」でないとされる部分である。確かに、縞模様を着色しなければ虎に見えないような作品は嫌われても仕方があるまい。しかしこの「彩色展開図」は、折り方の記録や教える方法として、もっと注目されてもよい手段であるとは私は考える。また、これでも作品の構造的な理解を助けることは出来るのである。



女雛

復原・作図 岡村昌夫



国会図書館蔵・清水晴風写『雛の図』(後に西沢笛舩『雛百種』に採録)の見取図から折り方を復原して展開図化したもの。

ゴジラ

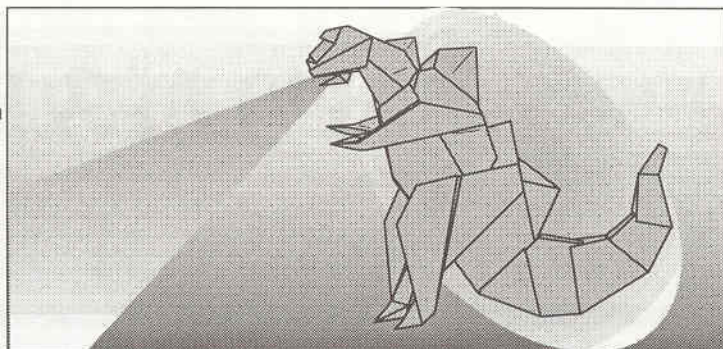
西川誠司

Godzilla

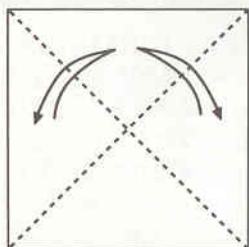
by Seiji Nishikawa

作 (1982)・図 (1996年7月)

西川誠司

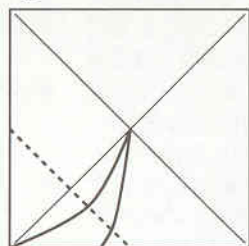


1



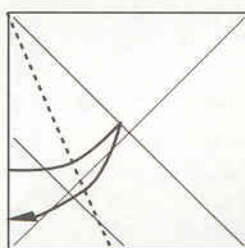
おりすじをつけます

2



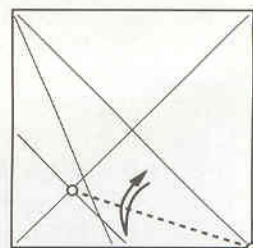
おりすじを
つけます

3



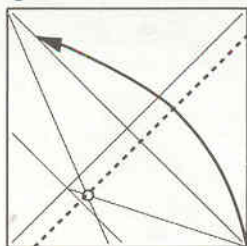
おりすじをつけます

4



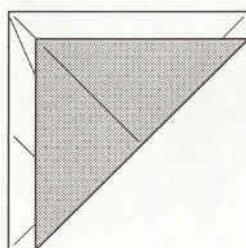
○と○を結ぶ線を
折る。

5

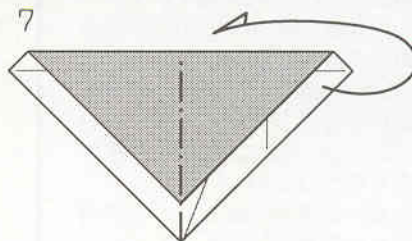


3でつけた折り線と4でつけた
折り線の交点を通り、対角線
に平行な谷折り線を折る。

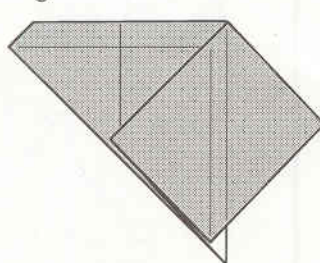
6



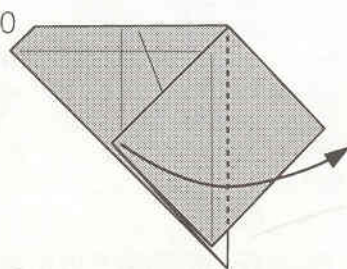
7



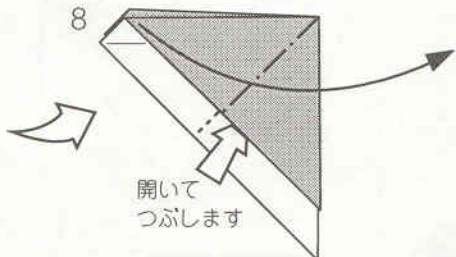
9



10

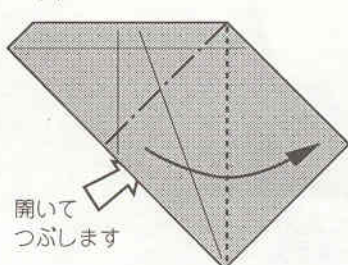


8



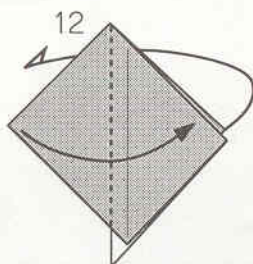
開いて
つぶします

11

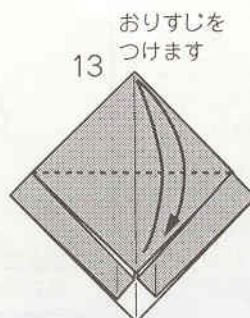


開いて
つぶします

12

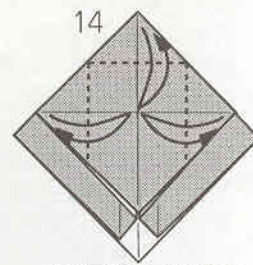


13

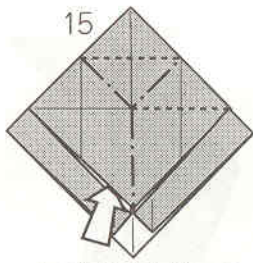


おりすじを
つけます

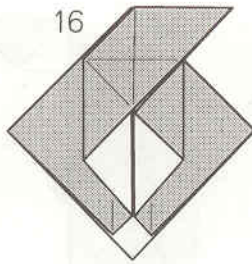
14



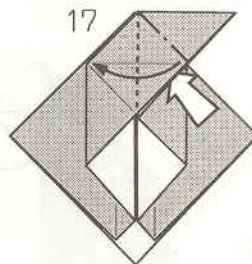
おりすじをつけます



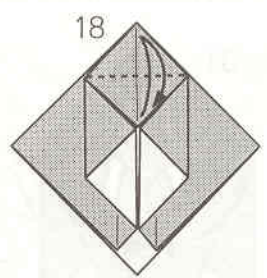
15
折り線にしたがって
まとめる



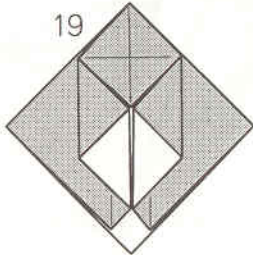
16



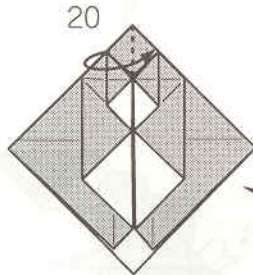
17
開いてつぶします



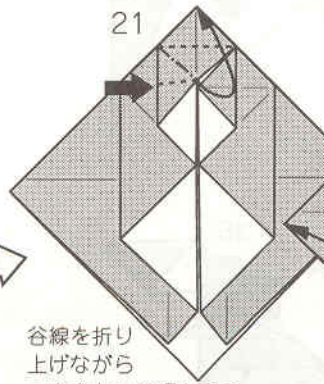
18
おりすじをつけます



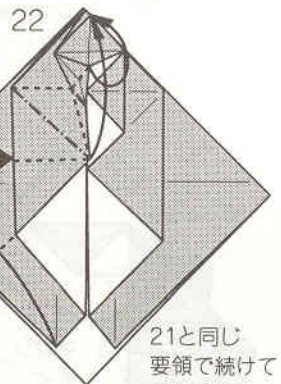
19
小さな正方形の部分
を14-17の要領で折ります



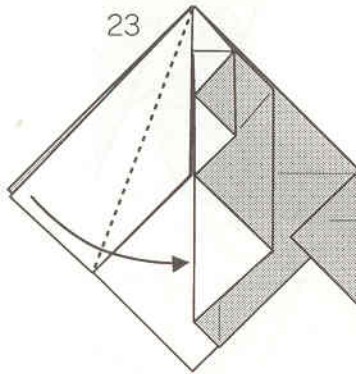
20



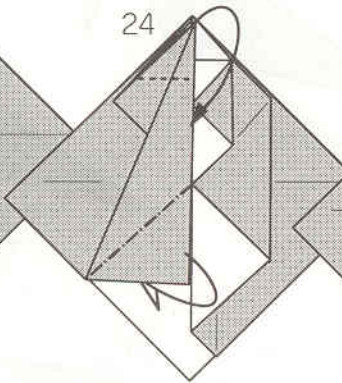
21
谷線を折り
上げながら
➡をかるく押さえる
ように谷線を折ります



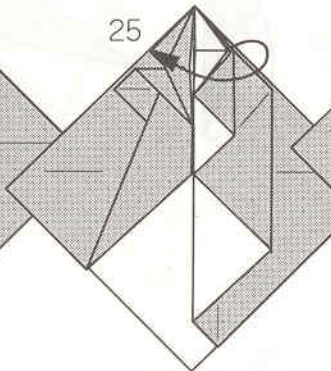
22
21と同じ
要領で続けて
折ります



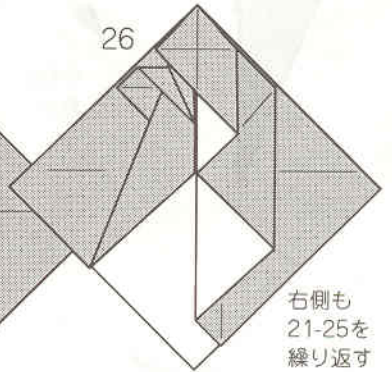
23



24

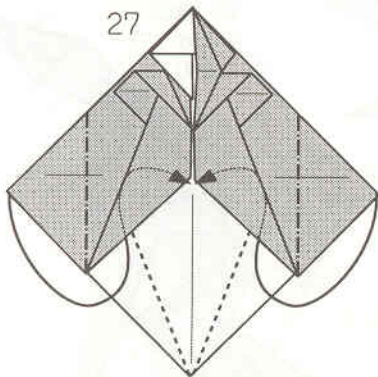


25

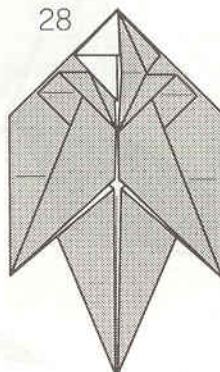


26

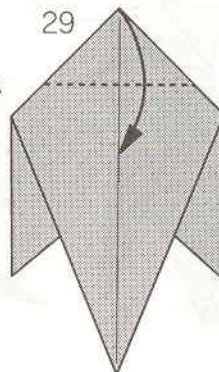
右側も
21-25を
繰り返す



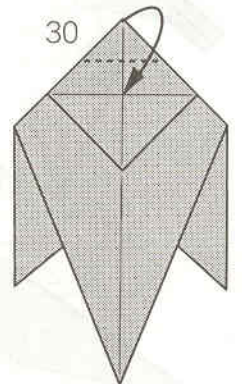
27



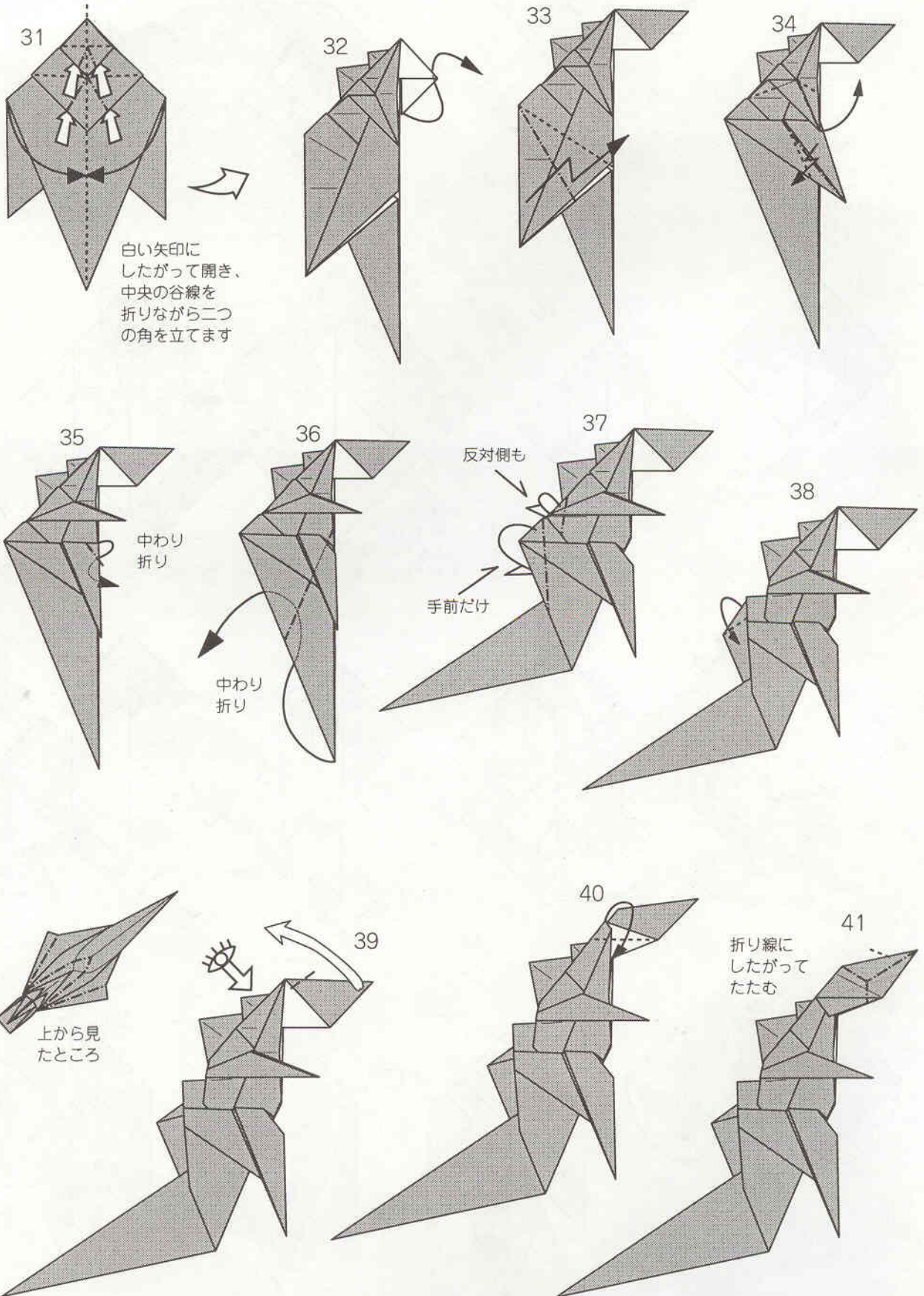
28

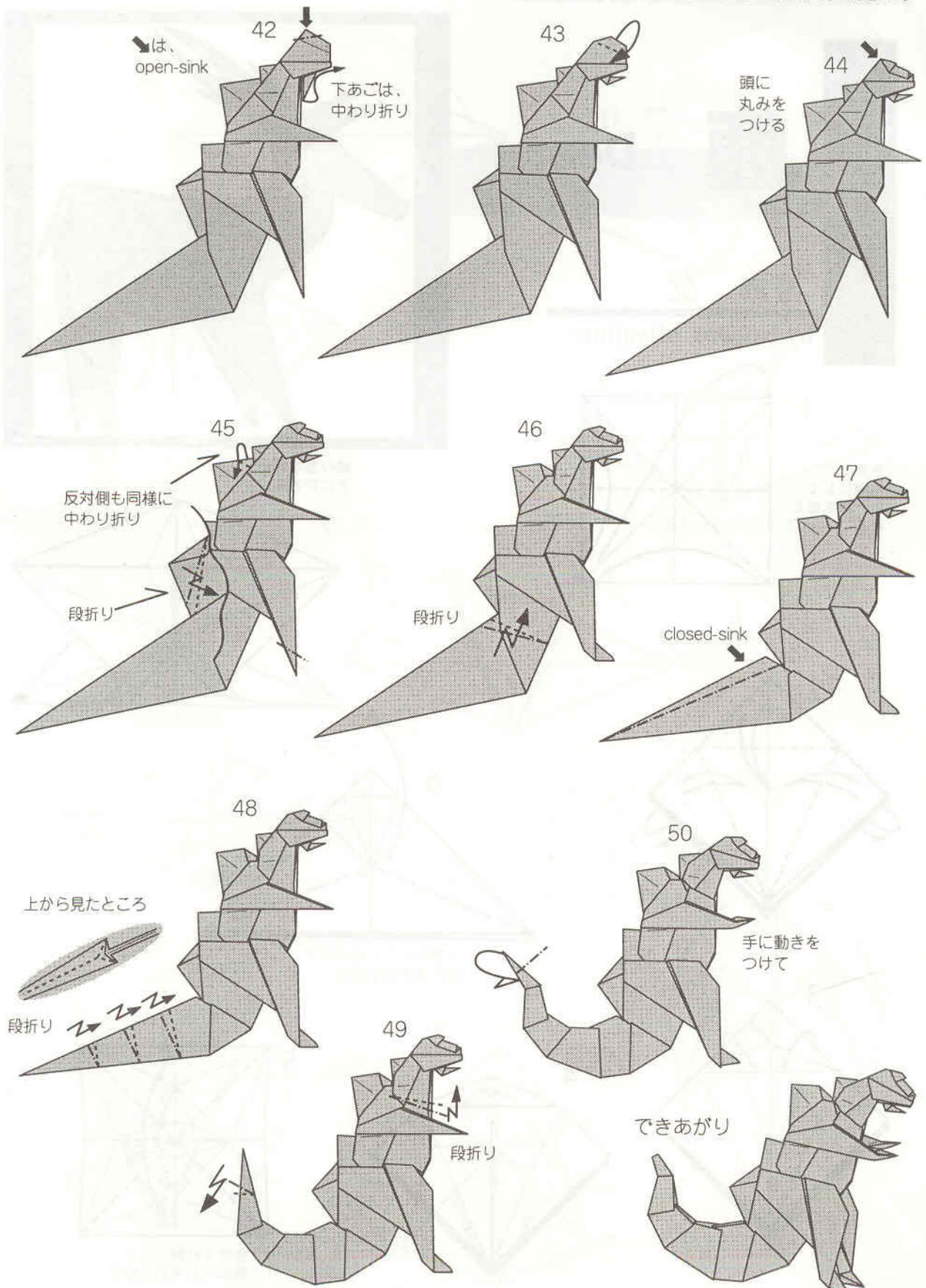


29



30



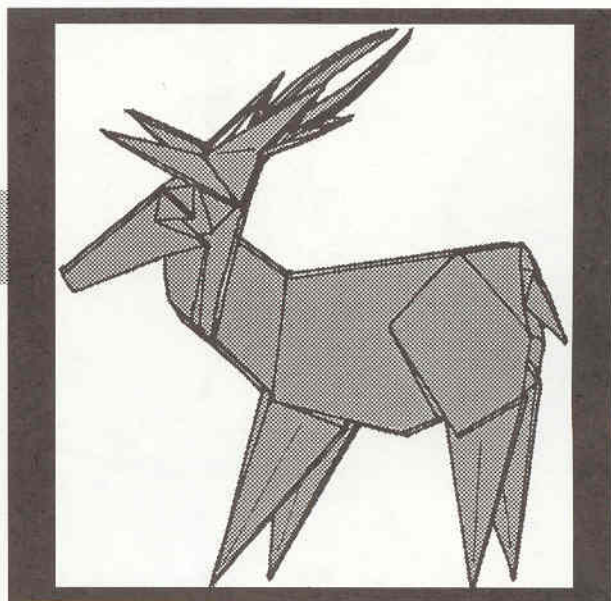


鹿

Deer

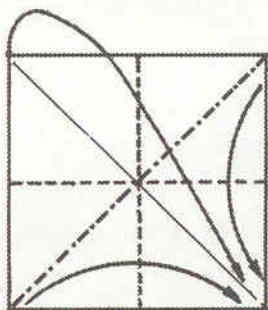
宮島 登

by Noboru Miyajima

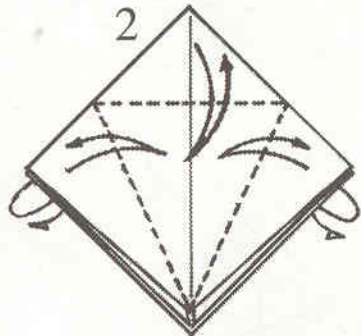


1

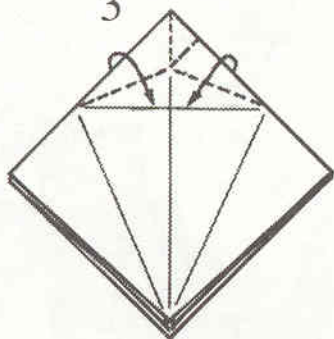
色面を
内側にして
正方基本形を
折る



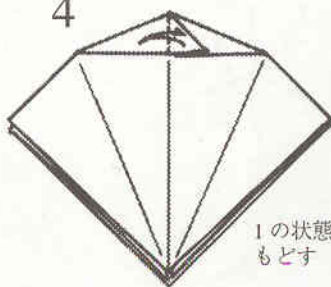
2



3



4

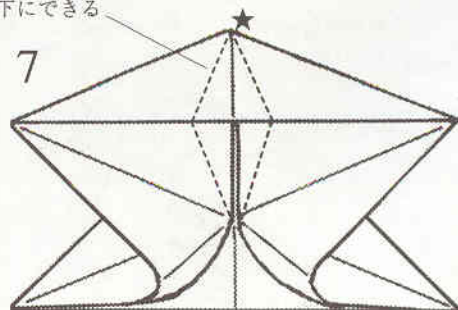


1の状態に
もどす

8

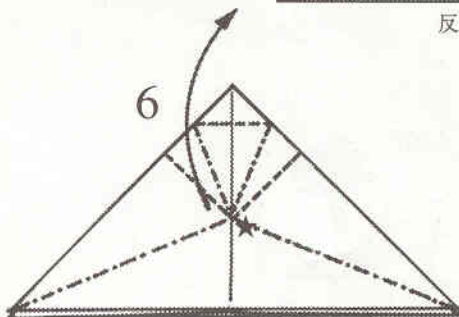
鶴の基本形が
下に見える

7



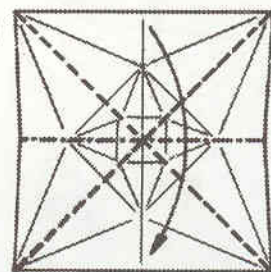
反対側も同じ

6

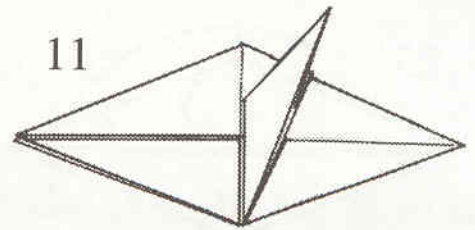
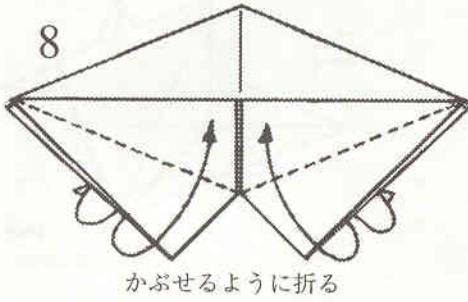
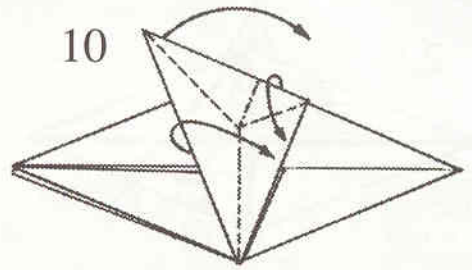
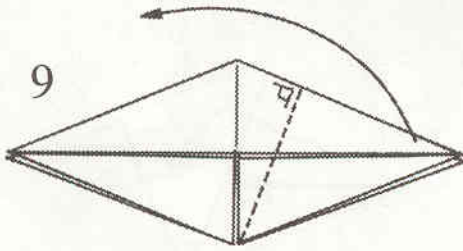


上部の小さい正方形で
鶴の基本形を折る

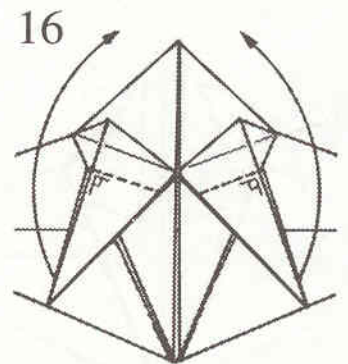
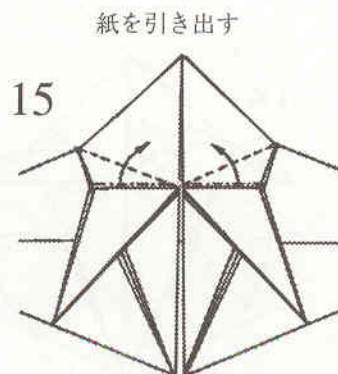
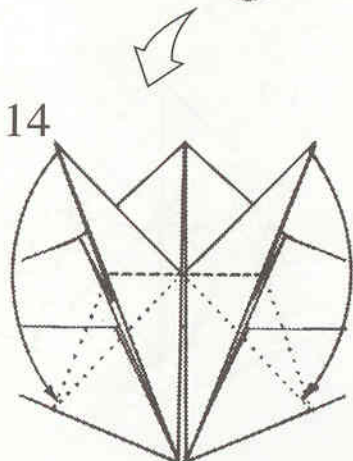
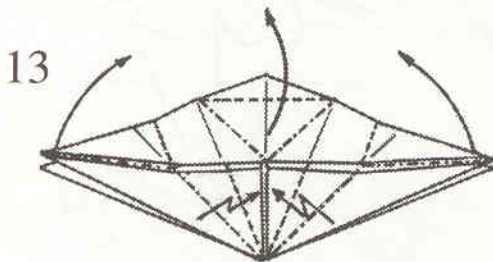
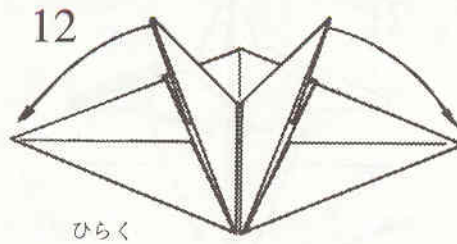
5



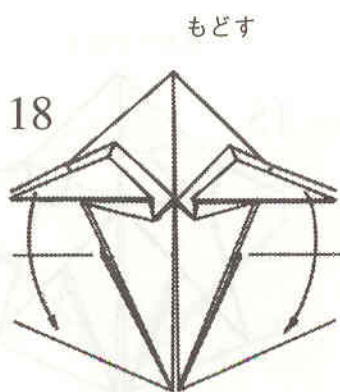
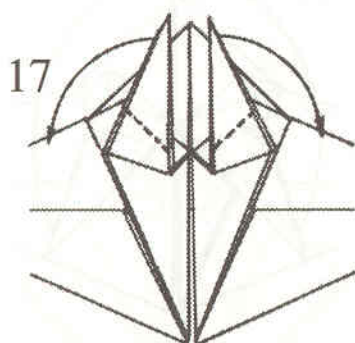
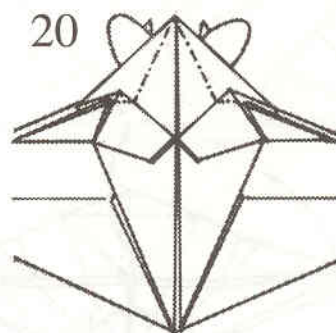
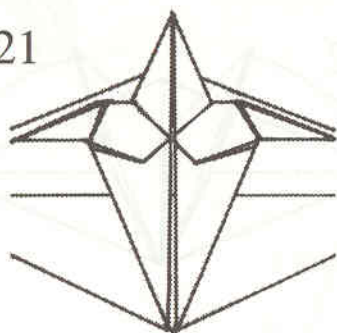
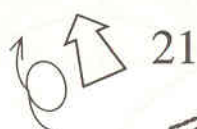
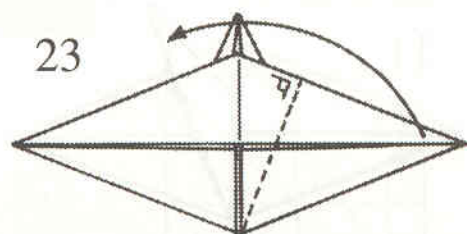
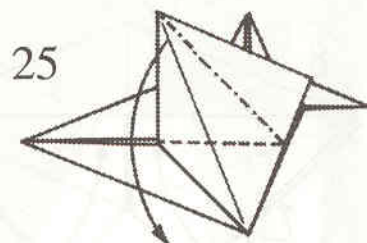
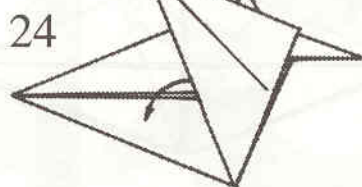
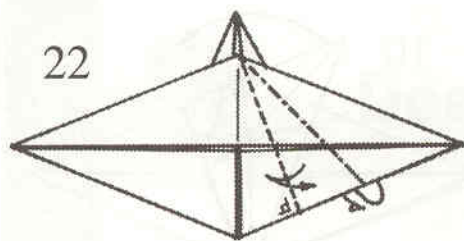
色面を外側にして
風船の基本形を折る



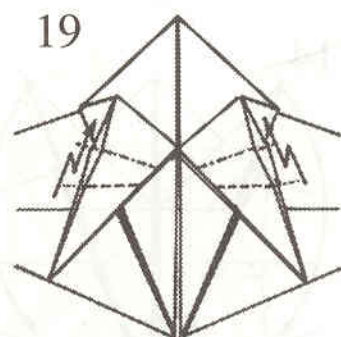
反対側も 9~10 と同じ

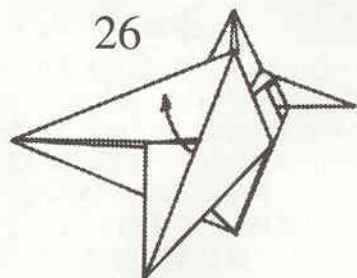


中の紙を引き出す

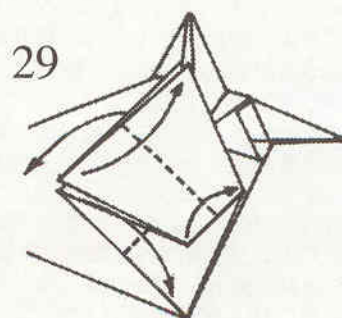
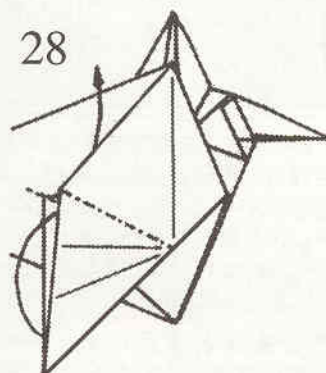
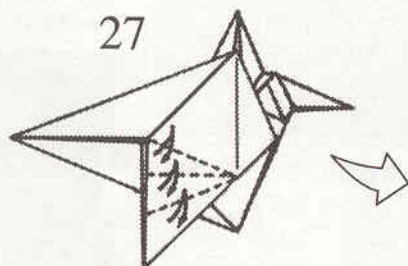


もどす

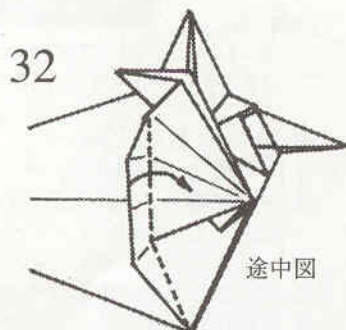
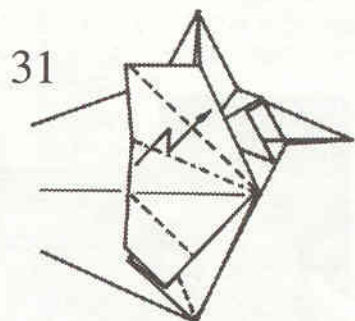
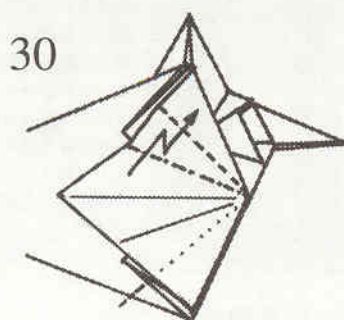




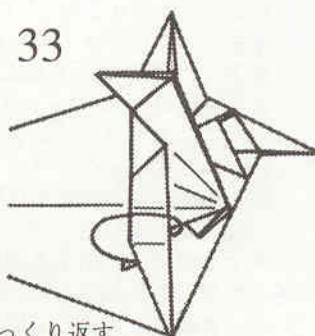
中の紙を引き出す



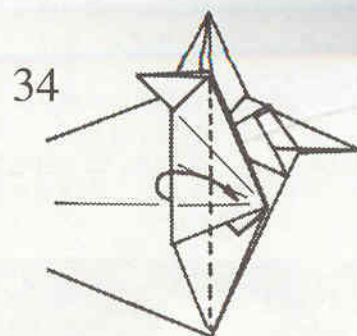
折りながら
中の紙を引き出す



途中図



ひっくり返す



以下次号



第2回折紙探偵団 コンベンションレポート

無情にも会場予約の抽選にもれてしまい(実はこういう事情があったのです)、予定よりひと月遅れの開催となった第2回コンベンション。日頃折り紙に飢えた約140人の狂信者…じゃなかった参加者を収容した文京区民センターにはいつになく妖しげな熱気がたちこめる。熱い熱いぜ!!(単に季節のせいだったりして。)長らくお待ちいたしました、あらゆる点でグレードアップした(ホントか?)第2回、ついに開催っ!!

こんなところが去年と違う!!

今回の看板・案内板類には世間亭キニスキーさんによるカラフルなイラストが盛りだくさん。折り図集も印刷が全然キレイになって(…こういう日本語に拒絶反応を示す方、ゴメンナサイ)、まるで本物の売り物のような錯覚をおぼえる…って、本物ですよ。会場入り口の展示場には講習作品だけでなく参加者が持ち寄ったオリジナル作品も数多く展示、これは昨年のBOSコンベンション訪問の際に仕入れたアイデア。探偵団新聞前号の山梨さんの漫画「迷探偵オリン君」に登場した時点ではアイデアのみの作品だった「ゴジラの着ぐるみ」が、早くも数体現物となって登場していました。

開会式では全体説明会に続いて、探偵団インターネット担当者中西さんによる説明。「コンベンションではインターネットの未来像についてお話ししました。一般家庭にインターネットが普及するとどんなことが便利になるのか、NTTへのサービスの申し込み、コンサート・チケットの予約を引き合いに出し、ある程度大きな書店に行ったり注文したりしなければ手に入らなかったような折り図集、完成まで数年掛かる折り図集が、将来は予め内容を確認した上で注文でき、しかも支払いまで自宅で済んでしまうだろうという予測をしました。」ふむふむ。



早くも出現、「ゴジラの着ぐるみ」。次は「キングギドラの着ぐるみ」をお願いします。

今年は講師として参加の川崎さんは一家総動員、娘さんの詩織ちゃん(紙折ではないぞ、くれぐれもご注意)の周りでは女性陣が「かわいいー!!」を連発。山田勝久さん、だっこしてみた感想は?「やわらかーい!!」あらまあそうですかー♡でも泣かしちゃだめよーん。

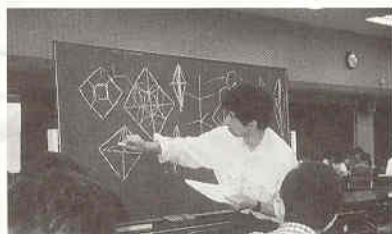


川崎さん一家は長崎県から遠路はるばるの参加。前回コンベンション一般参加者参加者最西端記録を樹立したのに続き、今回は講師最西端記録を達成。

さて講習開始です

今回のバッジ図柄は吉野一生さんの「ティラノサウルス」。(…でも決して恐竜関係の会合ではない、誤解のないように。去年が悪魔関係の集まりでなかったのと同様である。)だがその吉野さんが病気の為参加できず、羽鳥公士郎さんが吉野作品の代講を担当。さらに羽鳥さんは、TVチャンピオンで披露した得意の「目隠し折り」の講習も。…しかしいいなをどうやって教えたのだろう?…「紙を見ないでカドを合わせるコツとか、ですね」…なるほど。衛星放送でも活躍の「パソコンお父さん」岡村さんは、まだパソコン歴が浅いにもかかわらずハイクオリティーな折り図を作成。さらに今年は周辺理論も充実、をるでも紹介された鈴木教授のオトシブミに関する講義、川崎さんの変形折り鶴論、そして目黒さんの「折紙設計に於ける縦分子と横分子」という新たな概念も登場。マニアックなものばかりでなく田中稔憲

黒板を使って講義する目黒氏。決してお絵かき教室ではないですぞ。



さんの色紙作品や「をる」にも登場の辻さん「信楽のたぬき」など、広い分野にわたる作品群。…といった具合で順調に講習が進行、と思いきや前川さんと北條さんの講習が時間内に終わらず補講をやるはめに。そもそもこの二人、講習作品の基本展開図しか用意してこなかったらしい。(一部情報筋によると、この展開図だけでアーミーナイフを折ろうとした羽鳥さんは3時間かかったとか。さらに前川さんの折り図には講習とまったく関係ない「シンプルなキリン」の折り図も付いてるぞ。前川さんらしいといえらしいのだが…)完全版の折り図を受講者に郵送することになってしまった前川さん、「補講自体はちゃんと終わって、全員完成できたんですよ。今年初めて講師として参加した宮島登さんは余裕で完成、でも来年は前出二人のようにならぬよ

う気をつけましょう。

踊る前川氏。



「悪魔の前川」というと怖い人なのですが、実は折紙と阪神タイガースをこよなく愛する優しい人なのです。

懇親会にも新企画

伏見康治先生のスピーチで始まった懇親会。(伏見夫妻と西川夫妻が出てくるチャーミーグリーンのCMをつくったらおもしろいだろーなー、なんて失礼なことを考えてしまった。)山口さんによる人物紹介を聞きながらの立食パーティー、ちょっとでも隙を見せると侵略してくる「砂漠バッタ(?)」近江さんを迎

撃するのにみんな大わらわ。(そういえば近江さん、昼間には初音さんの「イヤリング」を習って「これ、いいでしょ」って見せてまわってましたね…うーむそういうところもあったのか…)コンベンションや忘年会ではほぼ恒例となった感のある和久敦也さんの大(?)マジックショーでは、デビルマンのTシャツでカジュアルに決めた和久さんがおなじみの西域語で不思議な世界を現出。今回の犠牲者(アシスタントともいう…)としてかり出されてしまった渡辺亜希子さんと会場の受講者まで強制参加(?)のショーは爆笑と驚嘆のうずでした。



折紙界の頭脳が集結して圭ちゃんに入れ知恵するの図。圭ちゃんには現役東大生と授業をさぼった大学教授がついてるぞ。

シンポジウム状態。意外な泥酔者約1名…。(軟体動物とまで言われてしまいました。やはり子供がやわらかいと父親もやわらかいのか!?)

朝も早よから…

2日目、スタッフがまだ集まりきらないうちから既に受講者の長蛇の列。(ドラクエやWindows95の販売ではありません。あくまで折り紙です。)山梨明子さんが赤ちゃんを背負いながら教える「あかちゃん」、本位田さんによる田中具子さんの色紙の講習、こてこて木下さん(通称イチロー)の「コーヒーテーブル」、飛び入りで講師をしてくれたジョセフ・ウー氏の「しゃち」などなど(全部を紹介しきれなくてホントにごめんさい)、2日目も盛りだくさんのプログラム。健全なる児童の育成に對し甚だ問題があると思われる、山田さんお得意の交尾動物「なかよしパンダ」も真昼間から出現。そして本日の超難解目玉商品はやはり川畑さんの「ばる単聖人」。(漢字変換で遊んでる川畑さんです。)展開図とはじめの数工程の図しか用意されていなかったためさすがの小学生軍団も全

飛び入りで講習をしてくれたウーさん。札幌からの参加は初参加にして一般参加・講師両部門最北端記録達成だ。



く歯が立たず、川畑さんはみごと去年の雪辱を果たしました。(…こういう形で勝つなんてだれが想像し得ただろうか!?)初参加講師の中村啓さんはどんな具合でしたか?「時間配分がむずかしかったですね。それから折り図を用意していなかったので受講者の方々も大変だったかもしれない。でもとてもおもしろかった。ぜひ来年もやってみたいです。」新人さんもうがんばってくれてますね。しかしそれにしても今年は難解作品の補講が多かったようです。やはり展開図やすっ飛んでる折り図ではきびしかった!!本年度のおおいに反省すべき点でした。西川さん。(筆者も反省してます…。by 蛋白室工房)



自分の赤ちゃんを背負いながら「赤ちゃん」を教える山梨さん。どっかがわいい?

最後のイベント、折り紙関係物品オークション。今年はトップおりがみ(川崎さん提供、既に絶版)や本田功氏著の古書などなど“お宝”“珍品”が大集合、トップおりがみはなんと2万5000円で藤本裕司さんが落札。収益総額は6万1000円となりました。

来年もあります!!

短いようでほんとに短かったこの2日間、事故などもなく(プログラム変更や補講はあったが)無事に全日程が終了。今年もこのコンベンションから、明日の探偵団を、折り紙界を支えてゆく新たな人材が陸続と現れることを期待しています。次回は講師をやってみたいなという方も、今回はもってこなかったけど実はこんなすごい作品があるんだぜ、ってな方も、ぜひぜひ例会に顔を出して、常連になってください。ね。(まだ入会1年ちょっとなのにもう何十年もいるかのような態度してる人もいます。誰とは言いませんが。)ではまた来年!!

実は近江氏もマジックができます。しかも講習までしてくれます。でもこれって去年と同じネタのような気が…



そしていよいよ全員参加イベント、前川さんが折り図描きの時間を犠牲にしてまで準備した「折り紙クイズ大会」開始。優勝賞品はなんとORIGAMI USA コンベンションご招待!!…でも参加費だけ、旅費は自分で出してね、と某ウルトラクイズ状態(プラス探偵団新聞無料購読2年分と双樹舎提供の「をる」バックナンバー、こっちは結構まともだ)。幅広い分野から出題された7問のクイズ。川崎さん一家は詩織ちゃんもふくめ3人がかりで臨んでいました。(詩織ちゃんは どうやって答えるんだ?)決勝戦には、優勝者を当てると賞品がもらえる敗者復活戦が加えられたので会場がにわかに活気立つ。しかも応援者による入れ知恵可!!(こままでのクイズの存在意義って一体…?)優勝したのはなんと山口さんちの圭ちゃん、でもやはり主催者側の人が優勝賞品をもらってしまうのは悪いということで、「をる」だけになってしまいました。

この日の宿泊は大部屋で朝までだべって下さい、という折紙協会

1. 日程について

「変更になったので困った」「梅雨の時期は避けてほしい」世の中には人知の及ばない領域があるのです。「小学校が休みの土曜日でよかった」21世紀の折紙界を担うべきお子様は大切にしてください。

2. 開催地・会場について

おおむね好意的な意見が多かったようです。

3. 教室について

「女性向きの講習を増やしてほしい」「時間が短すぎる」今回は難解モノが多過ぎたようです。反省しています。

「他の講習の声が気になる」「講義モノは別の部屋にしたら」検討します。

4. 展示作品について

BOS 仕込みの展示はいかがでした？「講習作品とその他の作品の区別が

きにくかった」「展示場所が狭すぎる」「もっと大切に展示してほしい」次回以降に役立てたいと思います。

5. 懇親会について

楽しんで頂けたようでなによりです。

6. 折図集について

前回と比べて、体裁だけは良くなったとお褒め頂きました。

7. 金額について

皆様のご意見を総合しますと、参加費は適当・折図集は安い・懇親会と弁当は高いという結果になりました。あとの2つについては探偵団の一存では値段を決められませんのでご勘弁下さい。

8. 次回参加について

「二度と行かない」に丸をつけた方は1人もいらっしゃいませんでした。

9. 情報について

やはり探偵団新聞で知った方が最も多いです。

10. その他

「人気の教室は2回クラスをつくってもらいたい」検討します。「講習内容をもっと早く公表してほしい」可及的速やかに検討致したい所存であります。「探偵団新聞に描かれている似顔絵がそっくり」……

コンベンション

コンベンションのアンケートにご回答いただいた皆様、ありがとうございます。皆様からの貴重なご意見を引き出しの奥深くに封印したのではない証拠に、集計結果を発表します。

アンケート結果

「すべての講習作品を載せてほしい」講師の皆さん、がんばって折図を描きましょう。

「『19956年発行』にはどギモを抜かれた」あなたには探偵団校正部部長の肩書きを差し上げます。

大好評・朝まで折紙…?

今回初めて旅館の大部屋を予約して合宿が行われました。

宿泊したのは北は北海道から南は九州・いやいや九州の軟体動物さんは酔った勢いで騒ぎに來ただけで宿泊ではありませんでしたから、南は奈良・岡山まで総勢17名でした。そのうち7名は修学旅行気分を味わって、みんなと一緒に泊まりたかった東京在住者、そのほか新潟・静岡・名古屋・京都・大阪・神戸の方が宿泊を利用されました。

宿屋はコンベンション会場から歩いて10分弱の本郷菊坂上にある日本旅館。着いて部屋割り、入浴をすませた後、一番広い部屋に集まって朝までずっとみんなで折紙を折りました。嘘です。ビールを買ってきては飲み、飲んででは買ってきながら、折紙の将来について熱く語っている一部の人を除いては、50cmの至近距離で見られる怪しい手品師和久さんの手

品に見とれていました。簡単な手品も2種類教えてもらいましたが、それでわかったことは、和久さんの手元としゃべりは怪しすぎるということです。

程良いところで切り上げて各自就寝。翌朝は8時朝食だったのですが、本位田さんは炊事場の横を通りかかった時、意外なことを耳にします。

「折紙の人たちは朝御飯が遅いから、卵をつけなくていいわよ。」

みんなで一緒に食べた朝御飯はおいしい和朝食でしたが、卵抜きでした。いい

の、コレステロールが気になるお年頃だから……。

というわけで朝食付き税込み6695円(面倒臭いから6700円徴収する)。宿泊者には概ね好評で、翌日も泊まった方、前日から泊まった方もいらっしゃったようです。来年も宿泊の用意はしたいと思いますので、御希望・御感想のある方はお寄せください。

株式会社クラサワ様
ショウワグリム株式会社様
株式会社トニー様
中村紙工有限会社様
株式会社双樹舎様

今回、上記の各社の方々に多大なご協力を頂き、幸いにして第2回折紙探偵団コンベンションを成功裡に終わらせることが出来ました。

我々スタッフ一同謹んで感謝の念を述べさせていただきます。

決勝問題 1. 高橋克彦 2. 400枚 200組 3. 野干平 4. 食べ物
予選問題 1. (2) 2. エニツ 3. (1) 4. できない 5. 半分以下 6. (2) 7. (4)

折紙クイズの答え

折り紙クイズ大会全問題一挙掲載!

コンベンション懇親会のメインイベント、折り紙クイズ大会の全問題を、折紙辞典編纂室の全面的な協力のもと、ここに掲載します。答えはそのへんどころがってますので探してください。なお、正解しても賞品はもらえません。

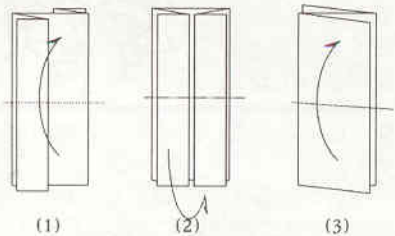
予選問題

1. 今回のコンベンションのキャラクターは吉野一生さんのティラノサウルスですが、このティラノサウルスのバックにあるのは、あるひとの作品のシルエットです。そのあるひととは誰でしょうか。

- (1)やはら吉野一生さん
- (2)西川誠司さん
- (3)木村良寿さん

2. 吉野一生さんのティラノサウルス全身骨格と布施知子さんの亀の子ユニットでは、紙の枚数が多いのはどちらでしょう。

3. ポケットティッシュも紙が畳まれた立派な折り紙です。さて、どんな畳みかたでしょう。(原案: 高井)



4. 探偵団例会で15人に聞きました。質問: 伝承の宝船を折ることができますか。さて、折ることができるひととできないひとのどちらが多かったでしょう。

5. 探偵団例会で15人に聞きました。質問: 「折紙探偵団」という名称についてひとことどうぞ。さて、「よい」と答えたひとは半分を越えたでしょう。

6. 折紙探偵団インターネットホームページはどこから閲覧したひとが最も多かったでしょう。

- (1)日本の教育機関
- (2)日本の会社
- (3)アメリカの商用ネット
- (4)日本の政府組織
- (5)アメリカ軍組織

7. 次のうちで最も少ないのはどれでしょう。

- (1)「をる」最新号のページ数
- (2)笠原邦彦さんが書いた本の数
- (3)「秘傳千羽鶴折形」の「百鶴」をのぞいた鶴の数
- (4)モントローさんの「ステゴサウルス」の工程数

予選問題を6問以上正解したひとは決勝に進めます。

決勝問題

1. 探偵団といえば少年探偵団。少年探偵団といえば江戸川乱歩。では、雑誌「をる」に載った作家で、乱歩賞を取ったひとをあげてください。

2. またまた、ティッシュペーパーの問題。箱入りティッシュの標準の枚数はどれくらいでしょう。

3. 西川誠司さんは、おりがみはうすで知り合った直子さんと昨年結婚しました。さて、プロポーズの言葉は何だったでしょう。というのは問題ではありません。結婚式で喜ばれるものに千羽鶴折形の妹背山があります。では、妹背山とまったくおなじ紙のかたちから折り始める作品の名前は?

4. 座布団折りを英語ではBLINTZ FOLDといいます。このBLINTZ、何に関する言葉でしょう。

日本折紙協会主催 第3回おりがみ供養

白山神社のあじさいまつりに合わせて、おりがみ供養が行われました。

紫陽花やはなだにかはるきのふけふ子規

しっとり雨にぬれる紫陽花の風情に少し欠けてはいましたが、汗ばむほどの天気恵まれて、「あじさいまつり」で賑わいを見せる文京区、白山神社に於いて、1996年6月15日(土)、日本折紙協会主催、第3回おりがみ供養が行われました。例年11月11日の「おりがみの日」に行われていましたが、諸行事と重なるため、今回はあじさいまつりの期間中に移行しての開催となりました。参加者は約50名。滞りなく進んだ供養の後、各自持参した折り紙作品に日ごろの感謝の気持ちを込めてお焚きあげをしました。

あじさいまつりの会期中、6月8～9、15～16日の土、日には、野点、写

生会、神輿渡御、歯ブラシ供養、各種模擬店、大道芸など盛りだくさんのプログラムの中、NOAからもPRを兼ねて「おりがみコーナー」を出店、協会の職員、ボランティア7～8名で「伝承のあじさい」を使った栞(しおり)を講習しました。

御婦人方、年配の方、若いカップル、小さいお子さん、中には日本人よりも粋

▶咲き乱れるあじさいの横でお焚きあげをしました。

に浴衣を着こなしたアメリカ人女性も参加しての講習会となりました。苦闘の末、やっと仕上がった栞を手に皆さん、嬉々としてお帰りになりました。

また、このコーナーと並行して全国のから寄せられたあじさいをテーマにした色紙作品約20点も展示され参加者の注目を集めました。



おりすじ

元旦の便器

川上理子

1996年1月1日元旦、N医大病院の救急外来で当直のアルバイトをしていた夜のことだった。23:00過ぎた頃、救命センターに搬送された患者さんの緊急血管造影検査の介助につくことになった。(血管造影検査とは、足の付け根の大腿動脈等から直径3mm、長さ60~100cm程のストロー状の管を体内に入れ、造影剤を注入することによって管の先端の血管をレントゲン撮影する検査である。患者は手術台の様な台に仰向けになって寝ており、医師は鉛の防具の上に手術着を着て、放射線の出る検査室内で検査にあたる。鉛を付けていない者は検査室の外で中を眺めている) 介助をしながら、眠気覚ましにそのへんにあった紙で、木下剛君の洋式便器を折っていた私に声をかけてきた一人の医学生がいた。

「何を折っているんですか。すごいですね。ちょっと見せてください。ひ

ろげていいですか? ああ、これはあやめの基本形からできているんですね。」

急に何を言いだすんだと驚いていると、ひろげたのをすぐに元通りに完成させて、

「僕はかぶとむしが折れるんです。えっ、ええ前川淳さんの作品です。ピバ! おりがみを持っているんです。笠原さんの本も持っています。モントロールさんの本も何冊か持っています。折り紙は好きで特に昆虫や複雑なものが好きです。」

九州からわざわざ正月に実習に来たというのにせっかくの検査そっちのけであった。ついつい

「私なんか前川さんに会って、話をしたこともあるもんね。前川さんの翔ぶカブトムシの折図だって持ってるよ。えーっ、翔ぶカブトムシを知らないの? 昆虫大戦争は知ってる? 知らないのー?」と調子に乗ってし

まい、2日後に昆虫大戦争の載っている本を貸してあげるようになった。2日後、それを見た彼が感動しているのにつけて、

「この昆虫戦争が起きた白山ていうのはね、この病院から徒歩10分位のところにあってね、そこには、たくさんの折り紙が飾ってあるし、本もあるよ。本に出てる若い作家達もよく来てるし、よかったら行ってみない?」 実習の終わった日の彼を強引におりがみはうすに連れてくると、畳みかけた。

「折紙探偵団というサークルがあってね、前川さんの連載とかその他面白い話題満載の会報

を発行しているの。勿論折図も載ってるよ。会員にならない?」

勢いで会員になってしまった鈴木君、お元気ですか。国家試験頑張ってるね。



新刊書紹介

吉野一生折り紙作品集

一生の スーパー・コンプレックス おりがみ

吉野一生・著 おりがみはうす刊
B5判200ページ カラー口絵8ページ
定価2900円 送料430円

超難解折り紙の吉野一生氏が世に出す2冊目の本です。主な収録作品は代表作の馬、ティラノサウルス親子、猪、鮭、オートバイ、そしてトリケラトプス全身骨格など。

日本のコンピュータ折り図の草分けでもある吉野氏の図は完成度も高く、超難解折り紙愛好

家には見逃せない、マニア必携の本です。

書店では購入できません。おりがみはうすまで直接お申し込み下さい。

折紙探偵団定例会の お知らせ

●会場 文京区民センター
日程 8月31日(土)午後1時~
9月28日(土)午後1時~
詳細はお問い合わせ下さい。

編集後記

★いやー、ここのところ折紙供養、コンベンション、TVチャンピオン収録と盛りだくさんだったな。そーいえば7月末の日本折紙協会の世界折紙展の記事がなかったな。自分達も出展してるのに。あ、いつものことか。(せ)

発行・折紙探偵団

〒112 東京都文京区白山5-36-7
ギャラリーおりがみはうす内

Phone (03) 5684-6040

発行人・吉野一生

編集人・岡村昌夫



特報! 第2回TVチャンピオン 折り紙王選手権 放映決定!

みなさま、1年と少々お待ちせしました。あの、TVチャンピオン折り紙王選手権、その、第2回大会が来る9月19日午後7時30分よりテレビ東京系列にて放送されます。

ディフェンディングチャンピオン西川誠司欠場に秘められた真相は?

果てしなき死闘、折り紙しりとりとの結末は? 出場者が挑むのは、限界のナノテクノロジーか、世紀末バベルの塔か。意地と誇りと空威張り、白紙の荒野に吹き荒れる!

ご期待ください。(今度は放送日変更にならないといいけどね)